

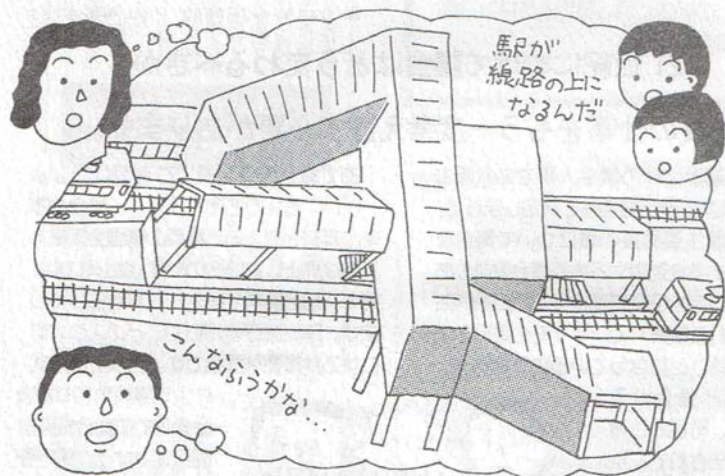
平沢地区の大店舗街と嵐山町街中空洞化。

嵐山町も変わってしまいました。

消費の流れで、町ができてあげてしまっています。

駅西口周辺は、お店がなくなって人通りが少なく夜は歩くのが怖いようです。

これから、駅周辺は、どうかわって行くのでしょうか。



★決まっていることは、平成13年度までの武蔵嵐山駅の橋上駅化（5億円の予算）です。今年の3月までには、駅東側にエレベーター（5000万円）が設置され、来年は駅西側にエレベーター（5000万円）が設置されます。

駅の小川町よりにある小さな踏切は廃止されます。

（複線化になるため、電車のおり返し線の部分になる予定です）

★駅舎は、現在の東西通路の小川町側です。そこには公共スペースもあります。駅の公共スペース、どんな利用方法があるのでしょうか。

★私は、『福祉の店』と福祉サービスの窓口的なスペースがほしいなあとと思います。武蔵嵐山駅は福祉の視点が有り、車イスの人や、足の不自由な人が自由に利用するために、エレベーターを設置します。東上線の多くの駅で、エレベーターでなくエスカレーター設置であるのは、スペース確保がむずかしいのでしょうか。

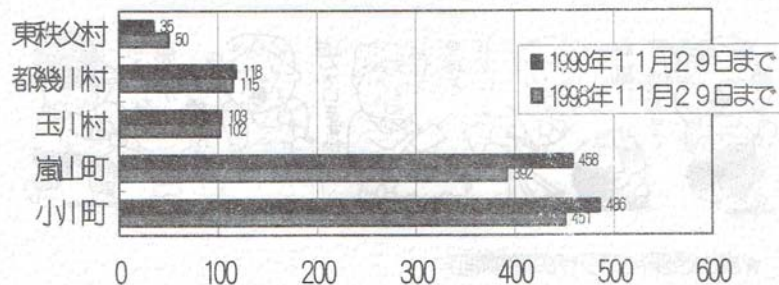
★嵐山町は、車イス、ベビーカーが利用しやすいエレベーターを選びました。武蔵嵐山駅は車椅子の人の利用しやすい高さの切符販売機や公衆電話もほしいですね。

平沢・川島を結ぶ都市計画道路の開通

嵐山町では、この一年間で交通事故がうんと増えています。

嵐山町の交通安全対策について12月議会で質疑するにあたって、小川警察署で嵐山町の交通事故発生状況について教えてもらいました。

小川警察署管内交通事故発生数(昨年12月・小川警察署で調査した数値)



★嵐山町は、昨年と比較して、事故件数が急激に増加していることがわかります。

小川署管内の交通事故は、増加数は嵐山町がトップです。66事故増加、2位の小川町35事故増加、東秩父村は、事故数が減っています。

★平沢・川島都市計画道路で交通事情が変わったことが大きな原因なののでしょうか。交通事故は、町づくりや都市計画に密接なことがわかりました。

★私は、12月議会で、町長に、嵐山町の交通事故マップをつくり、町全体で早急に交通安全対策に取り組むべきではないか質疑しました。町長も、嵐山町交通事故マップをつくり安全対策に取り組むと答弁しています。

朝の通学路の安全は

今まで、朝の通学路の交通量が多く、危険な場所は、PTAの当番がボランティアで交通指導をしていました。

交通事情が激しくなっていて、朝の交通指導の当番は、父母に負担です。

滑川町、鶴ヶ島市、松伏町等は、非常勤特別職の交通安全指導員（1ヶ月3万円、1日3千円程度の報酬）が行っています。嵐山町でも、どのような形が不明ですが、公募に踏み切るということです。

